

みんなで使う
パソコン 

#60秒情報モラル

キーワード

#アカウント
#ログアウト
#ウイルスチェック
#情報セキュリティ

この動画の活用にあたって

公共施設などには、利用者のために共用の端末が設置されていることがあります。サービスを利用するためにログインすると、端末の設定によってはアカウントとパスワードも記録(Cookie機能)されることがあります。その場合、その記録の削除を行うことで、個人情報の流出を防ぐことができます。また、プライベートブラウジング(シークレットモードやプライベートモードなど)でのWebブラウザの利用を活用すれば、入力した情報を記録に残さずに利用できます。

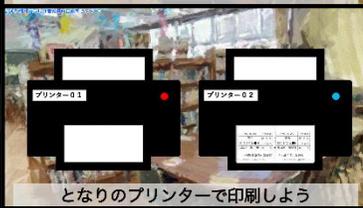
動画はこちら



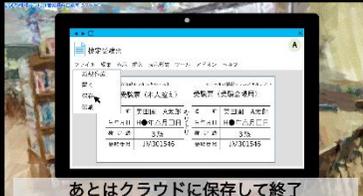
動画の流れ



Aさんが必要なファイルをダウンロードしている。



印刷しようとするもののエラーが起こり別のプリンターで印刷を行う。



Aさんはクラウドにログインして、クラウドに受験票を保存して作業を終了している。



Bさんが検索しようとする時、検索キーワードの履歴が出てきた。



Bさんが必要なファイルをダウンロードし、ダウンロードフォルダを見てみると他の人のファイルが残っていた。



Bさんがプリンターのエラーに気づき、復旧させると、Aさんのデータが残っていて、一緒に印刷されて出てきた。

気付かせたいことのみ

★(小1~3)

★★(小4~6)

★★★(中1~高3)

□ 補足・解説
◆ StepUp アクティビティ

★(小1~3)	□ ダウンロードする際にはウイルスチェックを行う。		
□ エラーが起こった場合は周りの先生にエラーが起こったことを伝える。	□ プリンターに送信したデータを消去する。		
	□ 共用の端末を使用する場合は、プライベートブラウジングで利用する。	□ 検索・閲覧履歴やCookieを残さずにシークレットモードやプライベートモードでWebブラウザを利用することを「プライベートブラウジング」といいます。	◆ プライベートブラウジングをしてみよう。
□ 前に使った人がログインしたままの状態である。 □ 検索キーワードの履歴が見れる状況にある。	□ クラウドサービスからログアウトをしていない。 □ ログアウトしてからプライベートブラウジングで使用する。	◆ クラウドからログアウトしよう。	
□ 前に使った人のダウンロードファイルが残ったままである。	□ 共用の端末を使う場合は、保存したファイルは残さずに削除する。	□ 共用の端末の場合、本体にダウンロードデータや保存データなどが残らないようにしましょう。	◆ 閲覧履歴やCookieを消去してみよう。
	□ 印刷物を残したままにすると重要な情報が盗まれる可能性がある。		